

< 本調査に関する Q&A >

本調査に関して、ご回答者様から寄せられたご質問のうち、代表的なものに回答させていただきます。
今後は、WEB 上(<http://www.cc.aoyama.ac.jp/~akiko/>)にて随時更新致します。

【 調査目的などについて 】

Q. このような調査を行うことの目的は何か。

A. 日米の投資家に、日米双方における市場の予測のありかたについて、それぞれご回答いただくことにより、日米の投資家の予測差異が、株価変動に与える影響などを明らかにすることを主たる目的としています。

調査を開始した 1980 年代より、世界を代表する市場であり続けた日本と米国の 2 つの市場に関して、国際比較可能な形で株式市場参加者の投資マインドを明らかにしていることが特徴であり、中長期にわたる国際比較可能指標として貴重な指標となっております。

日米の市場参加者に自国と他国の株式市場を評価して頂くことにより、投資主体別のマーケットの予測の違いのありかたや、株価変動のメカニズムを明らかにすることができる可能性があると考えております。

Q. いくつかの質問は、この時期の調査で尋ねられることに違和感を感じますが、それでも回答したほうがよいのか。

A. 投資家の市場予測の変化を捉えるためには、長期的に同じ質問を繰り返しご質問させて頂き、平常時の投資家マインドを捉える必要があります。このため、ご回答にご協力頂けましたら幸いです。

【 各設問内容について 】

Q. 設問が曖昧であったり、難しすぎるものが多い。また、設問が多すぎるように感じる。

A. 多くの質問が日米で共通であるため、日本語表現が分かりにくい質問もあり申し訳ございません。また、中長期の予測のありかたの変化を捉えたいために、アンケート調査の表現を頻繁に変えることが難しく、違和感をお持ちになるかもしれません、申し訳ございません。ご回答しやすい質問のみに、お答え頂くだけでも大変有難く存じます。引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Q. 回答の選択肢に適切なものがない設問があると思う。

A. アンケート調査の継続性を保つために、質問の多くは 1980 年代から同一の選択肢を継続して設定させて頂いております。適切な選択肢がない場合には、ご回答者の皆様のお考えに一番近い選択肢をお選びください。お選びいただいた選択肢のすぐ横に、本来あるべき回答をご記入頂いた場合は、こちらで記録としてデータ化させていただきます。

Q. 自分がテストされているように感じます。

A. 本アンケートは、あくまで日本の投資家の予測の全体像を捉えるものであり、回答者の皆様からご回答頂いた内容を個別に評価することはありません。そのようなことはお気になさらずに、株式市場に関するご意見をご回答いただければ幸いです。普段、投資家として気になさっていらっしゃることに
関する質問については、無回答で結構です。

Q. 「合理的な投資価値」とはどのようなものですか？

A. 証券投資の理論にもとづく株価の理論値と考えて頂いても大丈夫ですが、企業や株式の評価方法には、様々な方法があるので、ご回答者の皆様が妥当と判断される株価の水準をご回答下さい。理論モデルから導出された値である必要はございません。

【 その他 】

Q. 現在、運用を行っていないが、意見として参考になるのか。

A. 現在、運用を行っていらっしゃるなくとも、これまでにディーリング業務やブローカリング業務を経験なさっている方々には、ぜひご協力下さい。

Q. 今後、アンケート調査票を郵送ではなく、Eメールで送ってほしい。

A. アンケート調査票の最終ページの e-mail アドレス欄に送付先アドレスをご記入いただき、その下の「eメールでの受け取りを希望する」をご選択ください。お手数ですが、e-mail アドレスをご記入いただく際、小文字や数字をわかりやすくご記入下さりますよう、お願い申し上げます。

Q. 過去の調査結果を参考としたい。

A. 皆様から寄せられましたご要望を参考とさせて頂き、今後はアンケート票をお送りしてから 2 か月後のアンケート票をお送りするときに、調査結果をお送り(同封)させて頂きます。また、調査結果は WEB 上(<http://www.cc.aoyama.ac.jp/~akiko/>)でも公開しております。調査結果を別送させて頂いたほうがよろしい場合などは、WEB 上に公開させて頂いている情報と同一内容ではありませんが、e-mail または、郵送にて調査結果をお送りしておりますので、アンケート調査票の最終ページでご希望をお知らせ(ご選択)ください。

Q. 調査結果では「その他」等の記述コメント欄の回答の公開は行わないのか。

A. 皆様から寄せられましたご意見にもとづき、2015 年 2 月調査より、コメント公開の可否に関する質問を追加させて頂きました(設問 29 後)。公開にご承諾いただけたご回答者様のコメントについては、今後は匿名でご紹介させて頂くことがございます。